

平成30年
令和元年度

JST
「女子中高生の理系進路
選択支援プログラム」

理系から広がる
あなたの未来

かごしま☆科学のツネまき塾☆
Science♥girl
～ 育て！未来の理系女子～

成果報告書

鹿児島大学は、女子中高生のみなさんの理系進路選択を応援しています。

 国立大学法人 鹿児島大学



鹿児島大学
ツネまき塾

[目 次]

はじめに・理学部長 挨拶	01
事業の目標・評価方法・広報	02
進路相談会 with オープンキャンパス	03
親子で理系見学会	04
科学体験塾	05
科学体験塾サテライト	06
ロールモデル集作成・配布	07
サイエンスカフェかごしま（地域住民に対する取組み）	08
アンケート集計結果	09・10



[はじめに]

鹿児島県の女子の四年制大学進学率は全国最低水準のたった33%です！（文部科学省による2017年春発表の学校基本調査結果より）。一方、男子の大学進学率は43%であり、男女間の格差が他県と比べて突出しています。今、日本は急激な少子高齢化など社会構造が大きく変化しており、これまでの常識が通用しなくなりつつあります。社会の活力を維持していくためにも、女性がその能力を最大限発揮できる新しい社会の構築が必要不可欠です。女性が活躍できれば、鹿児島の未来はきっと明るくなるはずですよ！！鹿児島大学では地域活性化の知の拠点として地域活性化を担う人材の育成を目指した取り組みを進めており、できるだけ多くの若者が高等教育機関で学び、論理的科学的思考力を身につけられる機会を提供したいと考えています。また同時に、生徒の進路選択に多大な影響を及ぼす保護者や指導教員、ひいては鹿児島県民全体に対する意識改革も推進しています。

『かごしま☆科学のタネまき塾～育て！未来の理系女子～』では、JST「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」支援の下、2018～2019年度の2年間にわたり、企業や研究機関で働く女性研究者との交流や、体験実験、アクティブラーニングを取り入れた模擬授業等のイベントを多数開催しました。これによって、女子中高生さんの皆さんが大学生や研究者として活躍する未来の自分を具体的にイメージすることができる環境を提供することを目指しました。

最後になりますが、本事業は鹿児島県教育委員会と共同で実施させていただきました。また各種イベントの開催にあたっては奄美市、鹿屋市、霧島市、南さつま市の各市教育委員会、および県内企業・研究機関に多大なご協力を賜りました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

事業担当責任者 加藤 太一郎

「好奇心はいつだって新しい道を教えてくれる」～ウォルト・ディズニーの言葉～



事業実施責任者 鹿児島大学理学部長 岡村 浩昭

身の回りにある電化製品や機械類には、科学や数学の最新技術が詰め込まれています。人々はごく当たり前でそれを利用しますが、科学や数学そのものには無関心になりがちです。スペインの哲学者オルテガは、このような人々を「文明社会の野蛮人」と名付けました。1930年のことです。冷蔵庫や洗濯機といった電化製品、自動車や飛行機というエンジン付きの乗り物や、無線通信によるラジオ放送が広く普及していく時代でした。

現在の電化製品や情報機器は当時よりずっと高度な技術で作られています。中高生の皆さんが「文明社会の野蛮人」にならないように、私たちは2年間にわたって生徒の皆さんの好奇心を刺激する様々なイベントに取り組みました。幸い、多くの参加者の方に喜んでいただくことができました。

今後も引き続き、様々なイベントを企画して生徒の皆さんの好奇心を刺激していきたいと思っております。何年かあとには、今回の参加者の中から、新しい何かを見つけて私たちを刺激してくれる人が出てくることを期待しています。

目標

本事業では、企業や大学、研究機関で活躍する女性や女子大学生の姿を可視化するとともに、鹿児島地域の研究施設の見学会や大学キャンパス内での科学体験塾、県内中学校への体験型出前授業を開催することによって、鹿児島地域的女子中高生に大学進学意識が芽生えることを期待しました。また、女子中高生の科学系進路への選択行動を後押しするために、鹿児島大学（理学部、農学部、水産学部）が中心となって鹿児島地域の課題を解決するイベントを提供し、大学生、大学院生、および地元企業研究者とともに解決する取り組みを行い、将来の科学系職業人に対する夢を具象化してもらうことを目指しました。すべてのイベントでは積極的に保護者の参加を促すと同時に、地域の人々に対するサイエンス啓発活動も展開することによって科学に対する地域全体の意識改変を促し、地域全体で中高生の大学進学活動を後押しできる環境を整えました。

目的

本事業では以下の3つの目的を設定し、開催イベントを通して鹿児島県的女子中高生が理系進路を選択し、またキャリアパスを具象化できる環境を提供するための基盤作りを目指しました。

1 理系キャリアに気づく

企業研究者等との交流によって、鹿児島地域的女子中高生に科学系職業に対する理解度を向上させ、大学進学意識を芽生えさせます。

2 サイエンスの学びを知る

大学研究者による実験や講義を通して、科学に対する具体的なイメージを喚起させる意識啓発を行い、理系進路の選択を促します。

3 未来の自分を想像する

大学生や企業研究者等と協力して地域課題を解決する取り組みを行い、理系女子大学生や女性研究者として活躍する将来の自分を具体的にイメージさせます。

全体イメージ



評価方法

参加者の満足度評価方法を点数化

開催イベントに参加した女子中高生の満足度を評価するために、アンケート結果を点数化して評価しました。具体的には、アンケート問15(6)「理系の進路を前向きに選択しようと思うようになったか?」に対する回答について、したい(5点)、どちらかといえばしたい(4点)、どちらかといえばしたくない(2点)、したくない(1点)とし、平均点(5点満点)を算出しました。



広報

ホームページを作成し、イベントの告知等を行いました。

告知のポスター・チラシ



2019年度 その1



2019年度 その2



<https://www.sci.kagoshima-u.ac.jp/science-girl/index.html>



南日本新聞で科学体験塾の様子が掲載されました。



(令和元年9月7日 南日本新聞)
※南日本新聞掲載承諾済

〔 進路相談会 with オープンキャンパス 〕

2018年度 8月5日(日) 郡元地区オープンキャンパスと同日開催
2019年度 8月3日(土) 郡元地区オープンキャンパスと同日開催

女子の将来のキャリア設計にも高等教育、特に理系分野の学びが必要であることをできるだけ多くの人々に認識してもらうことを目的に、大学オープンキャンパスと同日開催で、女子高生に特化した進路相談会を行いました。

なぜ理系に進学したのか、研究室での生活は、将来の進路はなど、理系女子のキャリアについてのQ&A等を、フレンドリーな雰囲気でお話し合えました。



研究室での生活は？



将来の進路について相談中...

理系女子のキャリアについてQ&A

理系から進めるお仕事って色々あるんですね！

／ 私たちが相談にのりました ／



参加者数と満足度評価

区分	2018年	2019年
学生合計	18人	20人
満足度評価値	4.6	4.6

Interview



高校1年生

最初は「大学って大変なのかな？」と不安でしたが、学生さんから、優しく丁寧に、大学のいいところ、サークルや研究は同じ考えの人とたくさんの経験ができること、大学の先生も優しいことなどを教えてもらったので、「大学って楽しいところだなあ」と思えました。

保護者感想

なかなか大学に足を運んで話を伺う機会がなかったので、実際に話を伺ってとても参考になりました。

有意義かつ有効な取り組みと思います。女性の視点が大事で活かせる企画をもっと希望します。

選択肢を多く持って、職業選択、夢の実現へ向かうのが大事だと思うからです。



〔親子で理系見学会〕

2018年度 9月29日(土) 鹿児島県農業開発総合センター、西酒造株式会社

2019年度 8月24日(土) いおワールドかごしま水族館、鹿児島大学水産学部附属練習船

10月26日(土) 西酒造株式会社、発酵体験実験(鹿児島大学)

社会で活躍する女性研究者等を身近に感じてもらうことによって、学生の科学系職業に対する理解度の向上を図ると共に就職先の豊富さを知ってもらい、理系キャリアという選択肢に気づきを与えることを目指しました。

鹿児島県農業開発
総合センター

マンゴーの育成について説明の様子



栽培されていた
スターフルーツは、
肉厚で甘かったです！



鹿大附属練習船
南星丸



大きな船の
操縦を体験して、
水産の分野にも
興味を持ちました。



西酒造株式会社

焼酎の製造過程等の説明



甘酒を開発
していました。
ノンアルコールで
子どもでも
飲めました！



いおワールド
かごしま水族館



バックヤード見学で、
仕事の大変さと
楽しさを感じました。



参加者数と満足度評価

区分	2018年	2019年
学生合計	10人	11人
満足度評価値	4.3	3.9

Interview



高校1年生

理系に進もうか迷っている私は、理系進路を決めている友達に誘われて参加しました。農業開発総合センターのお二人の話聞き、性別に関わらず活躍できる職場だと感じました。おいしいスターフルーツの試食をした時、研究の醍醐味を見つけた気持ちになりました。

保護者感想

船に乗ったりする事は男性のみのイメージがありましたが、女性が活躍されている姿を実際に見ることができてよかった。

水族館や船員の仕事が理系ということを知らなかったのですが、知れてもっと魅力を感じました。

実際に働いている方の声を聞け、より魅力的に感じました。

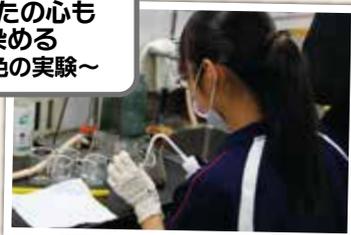


[科学体験塾]

- 2018年度** 12月 1日(土) ①リズム&パターン～実験とPCでリズムと形を探る～
 ②あなたの心も染める～染色の実験～
 ③生命誕生の神秘さを実感しよう！～家畜の卵子・精子の観察と体外受精の実験～
- 12月 8日(土) ④きらきら☆ニヨキニヨキ ～結晶の不思議を現役理系女子と解き明かせ！～
 ⑤宇宙の新しい窓を覗いてみよう ～BSアンテナを使って太陽の温度を測ってみよう！～
 ⑥焼酎の不思議を科学する ～あの甘いさつまいもが、なぜ酔っぱらう「焼酎」に変わるのか？～
- 2019年度** 8月31日(土) ①リズム&パターン～実験とPCでリズムと形を探る～
 ②あなたの心も染める～染色の実験～
 ③生命誕生の神秘さを実感しよう！～家畜の卵子・精子の観察と体外受精の実験～
- 11月30日(土) ④きらきら☆ニヨキニヨキ ～結晶の不思議を現役理系女子と解き明かせ！～
 ⑤宇宙の新しい窓を覗いてみよう ～BSアンテナを使って太陽の温度を測ってみよう！～
 ⑥スマホでロボットプログラミング！
 ～プログラムが実際どのように動くのか体験してみましよう！～

高校生に普段接することのない大学の雰囲気を感じてもらうために、大学キャンパス内の実験施設や講義棟を使用しました。科学の魅力が伝わり理系への興味がわくように導くため、少人数での実施や女子大学生の実験補助を多く配置する工夫を行いました。実験のサポートをしてくれた女子大学院生や女子学生(museメンター)等との交流会も開催しました。

あなたの心も染める
～染色の実験～



宇宙の新しい窓を覗いてみよう





スマホでロボットプログラミング!



生命誕生の神秘さを実感しよう!



参加者数と満足度評価

区分	2018年	2019年
学生合計	23人	22人
満足度評価値	4.4	4.6

Interview



中学3年生
理系を選択しても、批評文などを考えないといけないから、国語、英語が大切であることが分かりました。自分が好きなことを高校、中学でもやり続けることができればいいな。



高校3年生

先輩に聞いたことを心に刻みこれから生かしていきたいと思います。理系のおもしろさがわかりました。

保護者感想

性別に関係なく興味のあることに積極的に取り組むことが良いと思った。

〔 科学体験塾サテライト 〕

2018年度 12月 2日(日) 奄美市立金久中学校
12月 22日(土) 霧島市国分シビックセンター

2019年度 11月 9日(土) 鹿屋市立鹿屋中学校
12月 8日(日) 奄美市立朝日中学校
12月 14日(土) 霧島市立舞鶴中学校
12月 21日(土) 南さつま市民会館



中学校や地域施設を訪問し、体験科学実験を行いました。市販の化粧品を作るプロセスと、それに使われているさまざまな先端技術を紹介する「手作りコスメの化学」を通して理系への興味がわくように工夫しました。実験のサポートをしてくれた女子大学院生や女子学生(museメンター)等との交流会も開催しました。

鹿児島全域を
カバーするため
重点地域を設定



奄美市

想像して
いたのと
違って
楽しかった!

実験中



先生の説明が
おもしろかった!

「コスメ」という
ジャンルが理系と
関係していて
ビックリ!!

参加者数と満足度評価

区分	2018年	2019年
学生合計	57人	50人
満足度評価値	4.1	3.9

Interview

保護者感想

学校内に理系を目指す女子の仲間がおり、島内、市内にはこんなに多くの仲間がいるのだと。高校に進んだ時には、この子たちと学び戦うんだと感じて欲しいと思いました。何か感じてくれると良いのですが。



教員感想

離島というハンデのある中で鹿大の教授の講義を聴けるということは、子供たちにとって貴重な体験だと感じありがとうございました。「何故」を大切にしていきたいと思います。



中学1年生

かねて、大学でどんな実験をしているのか尋ねました。フラスコに試薬を入れて混ぜるなどしていると聞いて面白そうだなと思いました。オリジナルリップクリーム作りで化学分野に興味を持ちました。

[ロールモデル集作成・配布]

各種イベント、進路相談会や親子で理系見学会、科学体験塾、および科学体験塾サテライトに参加してくれた中高生がインタビューとなり、同企画で出会った女性研究者や教員、女子大学院生・学部生に取材するという形式を取りました。ポスターを見ることで、自分の将来を想像・描きやすいように工夫しました。

■ポスターvol.1



2019年1月 発行

■ポスターvol.2



2019年2月 発行

■ポスターvol.3



2019年3月 発行

■ポスターvol.4



2019年9月 発行

■ポスターvol.5



2019年12月 発行

配布先: 全県下中学・高校・教育委員会・自治体関係

2年間で5回発行した
ロールモデル集で、鹿
児島地域で活躍する女
性や女子大学生をのべ
55名紹介しました。

沢山のインタビュー
を通じて、理系に興味を
持つきっかけになって
くれたらうれしいなあ。
また、知らないうちに
私たちの考えを偏らせ
る「無意識のバイアス」
について知るきっかけ
になってくれたらいい
なと期待しています！



鹿児島大学公式マスコットキャラクター
さっつん

[無意識のバイアスとキャリアの話]

鹿児島大学高等教育研究開発センター助教
専門：社会学・キャリア教育 **高丸 理香**

「無意識のバイアス」とは、気付かないうちに「～にちがいない」と思っていることで、誰もが持っている考え方です。持っていることは悪いことではありません。ただ、そのことが、自分の選択を惑わせてしまうことがあるようです。

たとえば、進路を選択するときに偏差値がチラチラと頭をよぎります。さて、進路を決定するときに、あなた自身が一番に大切にしたいことは何でしょうか。「合格すること」？「進路先でやりたいこと」？それとももっと先の「将来の夢」？

周りの人が「偏差値が〇〇だから××がよい」「女性(男性)だから〇〇分野がよい」などのアドバイスをくれます。もちろん、アドバイスはとても貴重です。けれども、決定することは「あなたの未来」です。

「オトナが言うことが正しい」「にちがいない」「先輩や友だちの選択が「ふつう」にちがいない」というバイアスに囚われすぎると、あなたが本当に大切にしたいことが見えなくなってしまうかもしれません。「でも、その選択が「失敗」かも。」「ほら！それも「失敗してはいけない」というバイアスかも。

自分のなかにある「無意識のバイアス」に気がきながら、あなたの未来を、あなたらしく、あなた自身で決めて、進んでいきたいですね。

[サイエンスカフェかごしま]

地域住民に対する取組み

- 2018年度**
- 6月 9日(土) 第16回かつお節ってすばらしい!!
 - 7月28日(土) 番外編夏休みサイエンスカフェ
 - 8月25日(土) 第17回「アンテナ」はどうやって電波を集めるの??
 - 10月27日(土) 第18回そもそも大学って何だ!?
 - 11月24日(土) 特別編今年のノーベル賞受賞研究をひも解いてみよう!
 - 12月15日(土) 第19回「はたらく」を科学する??
 - 3月 9日(土) 第20回鹿児島島の味噌のひみつ
- 2019年度**
- 4月11日(木) 第1回サイエンスパブかごしま
 - 5月11日(土) 番外編(S7)ホテルの光を観察しよう
 - 5月25日(土) 第21回こどものけんちくがっこう
 - 7月13日(土) 第22回不思議な性質を示す人工材料メタマテリアル
 - 8月 9日(金) 番外編(S8)夏休みサイエンスカフェ
 - 8月25日(日) 第23回地震の化石!?
 - 10月30日(水) 第24回マインドフルネスを科学する
 - 11月30日(土) 番外編(S9)今年のノーベル賞受賞研究をひも解いてみよう!
 - 2月29日(土) 第25回痛いのはイヤだけど…～危険から身を守る痛みの神経回路～



[住民全体の意識改革と学びの裾野を広げたい!]

女子の将来のキャリア設計にも高等教育、特に理系分野の学びが必要であることをできるだけ多くの人々に認識してもらうために、鹿児島地域のカフェにて一般の人々を対象としたサイエンス啓発活動を行いました。女性の社会進出や科学に対する地域全体の意識改変を促し、地域全体で中高生の大学進学活動を後押しできる環境を整えることを目指しました。



夏休みの自由研究に使えるかも!



参加者数

地域住民		2019年	
		第1回パブ	26人
地域住民	2018年	番外編(S7)	39人
第16回	12人	第21回	28人
番外編	7人	第22回	17人
第17回	22人	番外編(S8)	15人
第18回	14人	第23回	9人
特別編	18人	第24回	19人
第19回	12人	番外編(S9)	13人
第20回	22人	第25回	19人
合計	107人	合計	185人



ホテルの観察



アンケート集計結果

全事業の参加者へのアンケート結果より（一部抜粋）

■生徒の声

進路相談会

- ▶高1 理系に対してのイメージがわいたので良かったです。
- ▶高2 就職先を具体的に聞くことができた。イメージがしやすかった。
- 研究の相談にのってくださり大学生生活についても聞けて、先生との話だけでは聞けないところが聞いてとても良かった。ありがとうございました。
- ▶高3 たくさん話が聞けて良かったです。ありがとうございました。

理系見学会(農系)

- ▶中1 実際に働いている方の話を聞いて参考になりました。様々な場所を見学出来て楽しかったです。
- ▶中3 いろんなことが分かりよかったです。

理系見学会(水産系)

- ▶中学生 高校生だけでなく中学生にも参加させてもらえて、これからの進路の参考になりました。また、大学生の方が優しくとても楽しかったです。
- 水族館の裏側(バックヤード)や、船の仕事のことを知れて良かったし凄く楽しかった。大学生の方のお話が聞けて良かったです。
- ▶高1 将来は水族館で働きたいと思っているのでバックヤードを見ることができてよかった。仕事内容を詳しく教えてもらったので働くことがとても楽しみになった。働くためにもさまざまな事を学ぶことが必要だとおもった。

科学体験塾

- ▶中3 普段、学校で学ぶ内容を、更に深く学ぶことができたので、とても面白かった。
- ▶高1 高校では深く習わないところまで学ぶことができ、とても楽しかったです。ありがとうございました。
- ▶高2 学校ではできない実験ができて良かった。
- 中・高の範囲を超えての実験で、新しいことをたくさん知ることができ、進路選択の参考にもなった。
- 普段学校ではできない実験を、本格的な器具を使って取り組むことができ、研究にとても興味をもてました。大学生が一生涯、研究に取り組んでいる姿にとってもひかれました。今回は貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

科学体験塾サテライト

- ▶中1 おうちに帰ってお母さんに自慢したくなった。家族と話す機会をつくれてとても良かった。
 - めっちゃたのしかったあー。
 - 化粧品を作る事を通して、化学の楽しさを知った。
- ▶中2 「すべての物質は毒である」とについて共感した。
- あぶらがたくさんあることを知れた。
- 「コスメ」というジャンルが理系と関係していると思ってなくて最初ビックリしました。とても興味を持ったので、将来の進路に活かしたいと思いました。
- リップクリームがどのように作られているかが分かった。
- ▶中3 親から言われききましたが、想像していたのと少し違い楽しむことができた。ありがとうございました。
- わざわざ島に来て下さりありがとうございました。
- 説明がおもしろくて楽しかったです。

■教員・保護者の声

進路相談会

- ▶なかなか大学に足を運んで話を伺う機会がなかったので、実際に話を伺ってとても参考になりました。
- ▶有意義かつ有効な取り組みだと思います。女性の視点が大事で行かせる企画をもっと希望します。
- ▶選択肢を多く持って、職業選択、夢の実現へ向かうのが大事だと思います。

理系見学会

- ▶船に乗ったりする事は男性のみのイメージがありましたが、女性が活躍されている姿を実際に見ることができてよかった。
- ▶水族館や船員の仕事が理系ということを知らなかったのですが、知れてもっと魅力を感じました。

科学体験塾

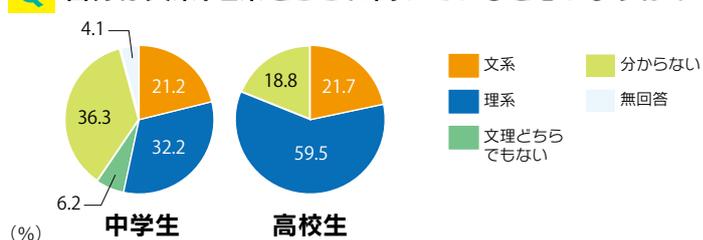
- ▶性別に関係なく興味のあることに積極的に取り組むことが良いと思った。

科学体験塾サテライト

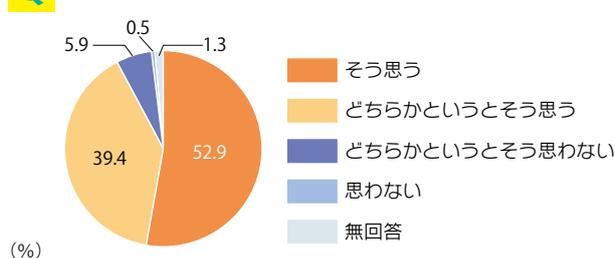
- ▶離島というハンテのある中で鹿大の教授の講義を聴けるということは、子供たちにとって貴重な体験だと感じありがたかったです。「何故」を大切にしていきたいと思います。
- ▶学校内に理系を目指す女子の仲間がおらず、島内、市内にはこんなに多くの仲間がいるのだと、高校に進んだ時には、この子たちと学び戦うんだと感じて欲しいと思っていました。何か感じてくれると良いのですが。
- ▶女性(生徒)に限らず男子も一緒に参加した方が、より自然に近いのではないかと思います。

■生徒の回答（総数215人）

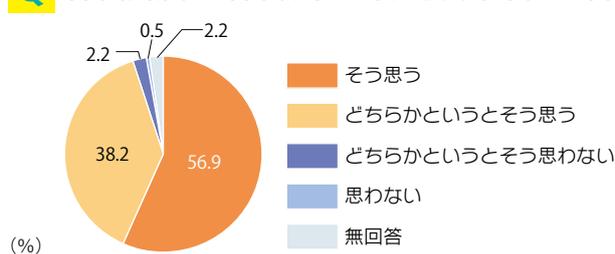
Q 自分は文系、理系どちらに向いていると思いますか？



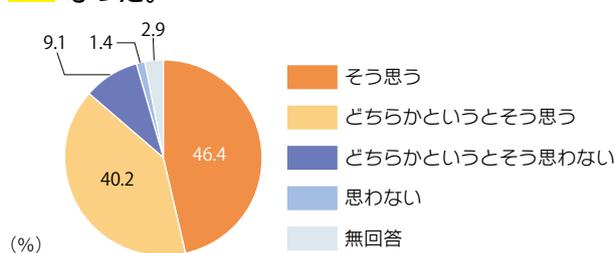
Q 今回の取組への参加は進路選択の参考になりましたか？



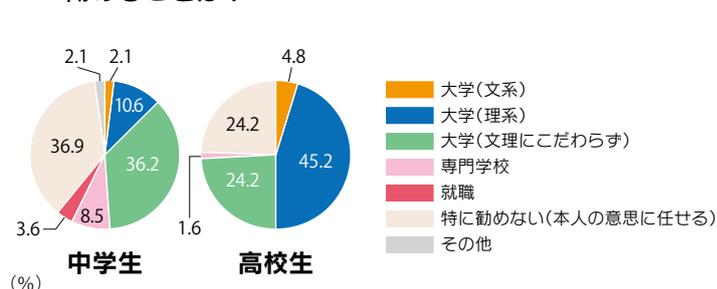
Q 科学技術や理科や数学に対する興味・関心が高まった



Q 今後、理系の進路を前向きに選択しようと思うようになった。



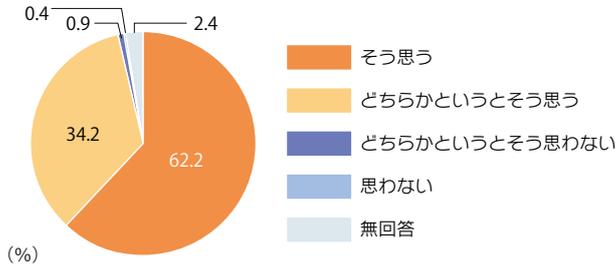
Q あなたの保護者が、高校卒業後に進路として勧めることは？



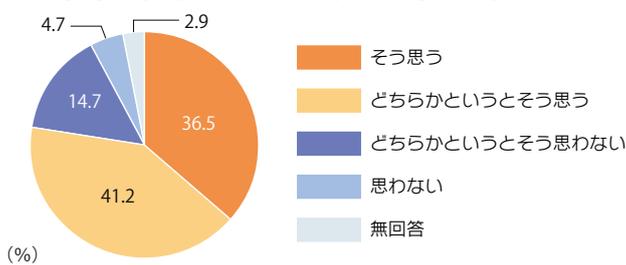


■ 教員・保護者の回答 (総数63人)

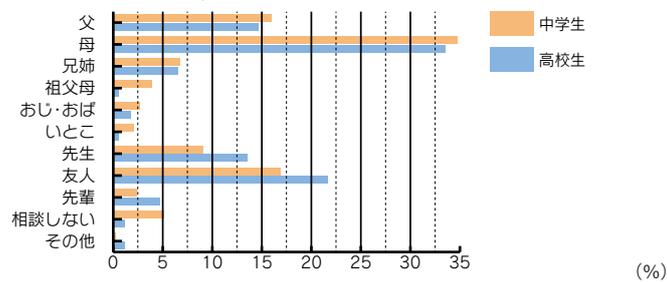
Q 理科や数学を勉強することは、自分の将来のために重要だと思うようになった。



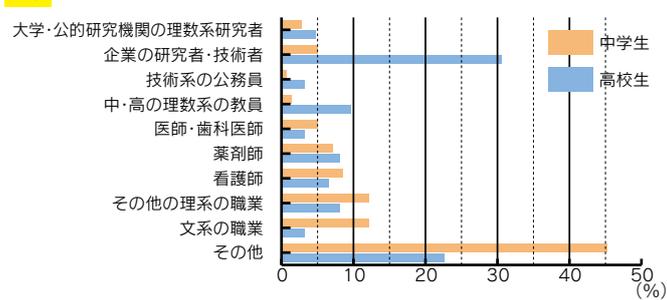
Q 将来、科学技術を必要とする職業に就きたいと思うようになった。



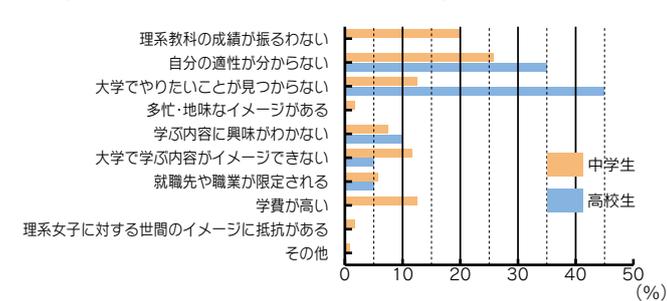
Q 進路について誰と話したり相談したりしていますか？(複数回答)



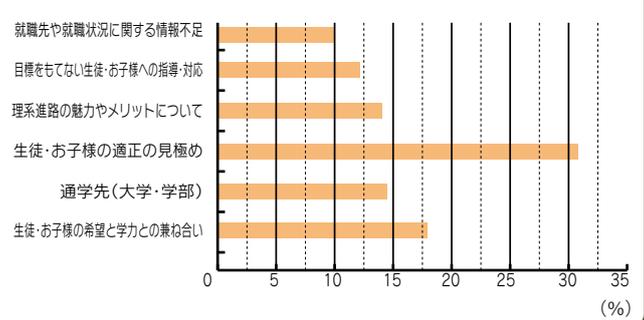
Q あなたが将来就きたい職業は何ですか？



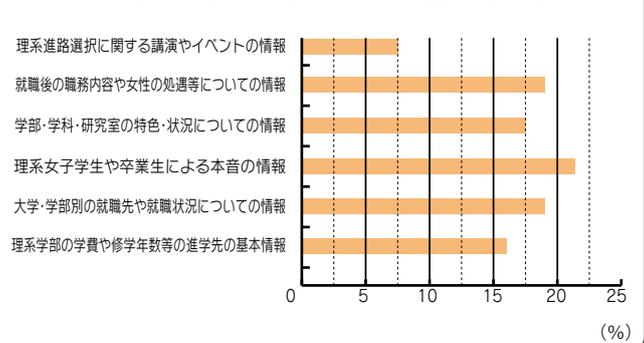
Q 理数学部に進学できない理由や悩み(迷っていると回答した者のみ) (複数回答)



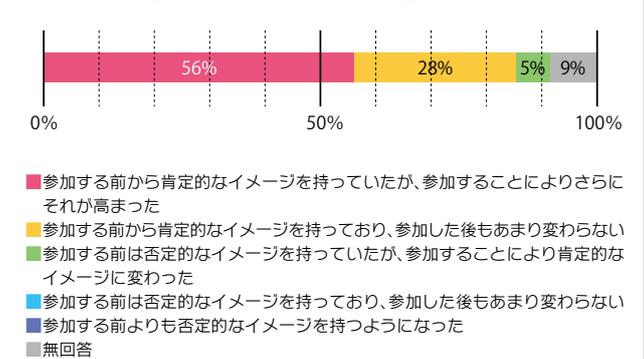
Q 進路指導や相談への対応で難しいと感じられているのはどのような点ですか。(複数回答)



Q 進路選択を支援する上で、充実が望まれるとお考えの情報は何か？(複数回答)



Q 女性が理系の職業に就くことに対するイメージの変化がありましたか？



事業実施者・協力者一覧

■ 事業責任者

前田 芳寛 鹿児島大学 学 長 (2018年度)
佐野 輝 鹿児島大学 学 長 (2019年度)

■ 事業実施責任者

藏脇 淳一 鹿児島大学理学部 学部長 (2018年度)
岡村 浩昭 鹿児島大学理学部 学部長 (2019年度)

■ 事業担当責任者

加藤 太郎 鹿児島大学理学部 助 教

■ 事業実施者

小山 佳一 鹿児島大学理学部 教 授
鬼束 聡明 鹿児島大学理学部 准教授
秦 浩起 鹿児島大学理学部 准教授
中西 裕之 鹿児島大学理学部 准教授
永山 貴宏 鹿児島大学理学部 准教授
横川 由起子 鹿児島大学理学部 講 師
渡部 由香 鹿児島大学農学部 准教授
大久津 昌治 鹿児島大学農学部 准教授
吉崎 由美子 鹿児島大学農学部 准教授
加藤 早苗 鹿児島大学水産学部 准教授
橋口 知 鹿児島大学男女共同参画連携センター長 (2018年度)
山口 真理 鹿児島大学男女共同参画推進センター
コーディネータ(特任研究員)

■ 連携機関協力者

山下 いのり 西酒造株式会社
若松 謙一 鹿児島県農業開発総合センター
久保 信隆 いおワールドかごしま水族館

■ 事業事務支援者

松崎 聖一 鹿児島大学理学部 事務課長
竹元 妙雅 鹿児島大学理学部 総務係長
平松 優志 鹿児島大学理学部 会計係主任
皆倉 輝志 鹿児島大学理学部 学生係長 (2018年度)
宮田 留美子 鹿児島大学理学部 学生係長 (2019年度)
稲葉 愛 鹿児島大学理学部 学生係事務補佐員 (2018年度)
坂ノ下 美穂子 鹿児島大学理学部 学生係事務補佐員 (2019年度)



実施体制図

実施機関

国立大学法人 鹿児島大学
事業責任者：学長

【主体となる学部】

- 理学部・農学部・水産学部
- 事業実施責任者：理学部長

企画・立案・実施 / 周知・募集 / 経理 / 報告書作成 / 連絡会議とりまとめ



共同
実施

共同機関

- 鹿児島県教育委員会
- 奄美市教育委員会
- 鹿屋市教育委員会
- 霧島市教育委員会
- 南さつま市教育委員会

企画・立案・実施 / 周知・募集 / 会場提供

連携
協力

連携・協力機関

- 西酒造株式会社
- 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)
- アサダメッシュ株式会社
- いおワールドかごしま水族館
- 鹿児島県大隅加工技術研究センター
- 大福コンサルタント株式会社
- 鹿児島県農業開発総合センター
- ノイエス株式会社
- 濱島印刷株式会社

親子で理系見学会 / ロールモデル集

 国立大学法人 鹿児島大学

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目 21 番 35 号 理学部学生係 ☎099-285-8025

HP www.sci.kagoshima-u.ac.jp/science-girl/



WEBサイトは
こちらから